

大霧地熱発電所

施設管理者 : 九州電力(株)、日鉄鉱業(株)
施設所在地 : 鹿児島県霧島市
調査見学期 : 平成 26 年 10 月 23 日 (木)

施設概要

発電所は、鹿児島県の北部にあり、宮崎県との県境に接しており、北に栗野岳、東に韓国岳、東南東に大浪池を望む標高 700～900 メートルの丘陵地にあり、付近にはスギ・ヒノキの植林や、牧草地がみられます。

この地方には霧島温泉郷といわれる多くの温泉があり、約 130 の源泉が、浴用、給湯用、飲用等に利用されています。

展望絶景の栗野岳をはじめ、春の新緑、初夏のミヤマキリシマ、秋の紅葉、冬の樹氷で有名な霧島、天孫降臨の神話が息づく高千穂峰など観光地も多く、四季折々の自然美が楽しめます。

大霧発電所は事業用として、九州では、大岳発電所、八丁原発電所、山川発電所について 4 番目、全国では 10 番目の地熱発電所です。発電部門を九州電力株式会社、蒸気部門を日鉄鉱業株式会社が担当し、共同で運営しています。

発電所の運転状況の監視は、約 60 キロメートル離れた川内発電所から行っています。
(GEC ニュース第 304 号より抜粋)